

## 第4章 ゼロカーボンシティ実現に向けた重点プロジェクト

- 1 エコプラザを活用した積極的な環境学習の促進（区民編）
- 2 区内事業所におけるゼロカーボンの促進（事業者編）
- 3 区有施設におけるゼロカーボンの推進（区有施設編）

# 2050年ゼロカーボンシティ実現に向けた重点プロジェクト

## プロジェクトの目的

近年、地球環境をめぐる社会情勢に大きな変化があり、特に国内外において脱炭素社会の実現に向けた動きが加速しています。目黒区でも2022（令和4）年2月1日に2050年の二酸化炭素排出量を実質ゼロ（脱炭素化）とするゼロカーボンシティの実現を目指すことを表明しました。

2050年ゼロカーボンシティ実現に向けて、特に重点的に取り組む施策として、区民、事業者、区の3つの取組主体に分けてプロジェクトを設定しました。

各プロジェクトの進捗状況については、毎年度作成する「めぐろの環境（環境報告書）」で報告していきます。

## プロジェクト① エコプラザを活用した積極的な環境学習の促進

### 取組主体：区民

2050年ゼロカーボンシティの実現には、区民一人ひとりが環境問題に対する理解や興味を深め、環境負荷の低減につながる行動を主体的に行うことが大切です。

そのために、目黒区エコプラザの環境活動の拠点としての機能を強化することにより、環境負荷低減に向けた意識啓発活動をより一層推進していきます。

目黒区エコプラザの一部を令和6年度にリニューアルし、区民が環境について理解を深める体験コーナーの充実や、インターネットを利用したオンライン講座や動画講座などの、時間や場所にとらわれない環境学習機会の拡充をより一層推進していきます。

また、区民が参加しやすい環境活動の輪が広がるキャンペーンを実施し、より多くの区民が活動に参加する機会の提供を図っていきます。

情報発信においては、SNS等を積極的に活用し、目黒区エコプラザからの環境に関する情報の発信をより一層充実させていくとともに、環境学習に参加した区民による情報発信の仕組みの構築についても検討していきます。

## プロジェクト②

## 区内事業所におけるゼロカーボンの促進

## 取組主体：事業者

区内事業者の再生可能エネルギー導入や省エネルギー化への取組を、区がサポートします。事業所におけるゼロカーボンに向けた取組を促進することを目的とし、これまで区が実施してきた「めぐろグリーンアクションプログラム事業所版」を、「めぐろゼロカーボンプログラム」として刷新し、事業者による地球温暖化対策の、効果的かつ持続的な取組を促進します。

事業者向けの温暖化対策の取組を「めぐろゼロカーボンプログラム」として策定し、プログラム参加事業者に、区からの情報提供や専門家による助言等によりサポートを行います。

さらに、プログラムの取組継続期間や削減効果に応じたインセンティブを設け、持続的な温室効果ガス排出量削減の取組を促進していきます。

## プロジェクト③

## 区有施設におけるゼロカーボンの推進

## 取組主体：区

基本方針1の「カーボンニュートラルの未来をつくる」の実現に向けて、区有施設における省エネルギー設備や再生可能エネルギー設備の率先導入を行います。

区有施設において、LED、太陽光発電設備、蓄電池、電気自動車充電設備などの省エネルギー設備・再生可能エネルギー設備を整備することにより、エネルギー使用量の削減を進めていきます。設備の整備にあたっては、国の補助事業の活用を視野に入れながら、実現可能性調査を実施のうえで導入を図っていきます。

また、区有施設が使用する電力について、再生可能エネルギー100%電力としていくとともに、庁用車のZEVへの更新を進めていきます。

これらの取組により、区の業務により発生する温室効果ガス排出量を、2013年度を基準とし、2032年度までに60%の削減を目指します。

さらに、こうしたゼロカーボンの推進の取組を、区内の大規模事業者である区が率先して実践し、区民や区内事業者を普及啓発していくことにより、地域における温暖化対策促進の波及効果を目指していきます。